

報道機関各位

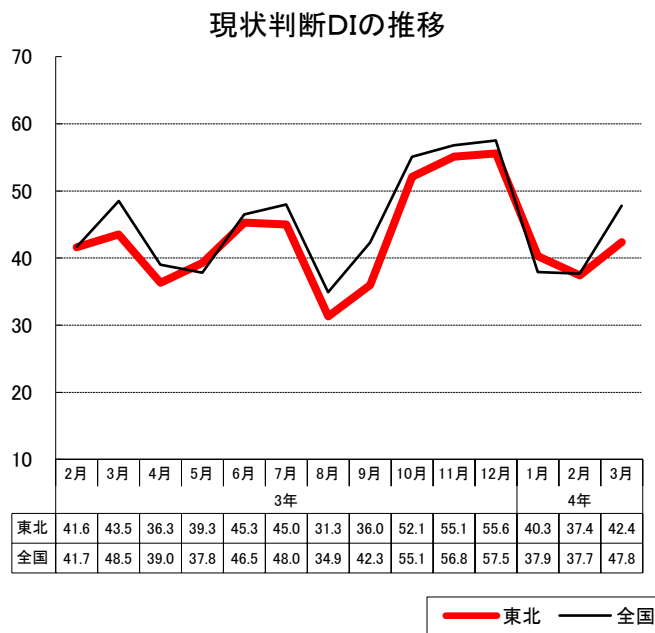
公益財団法人東北活性化研究センター
 「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年3月 東北分
 (東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 会長）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和4年3月 東北分（東北6県）」について、とりまとめましたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

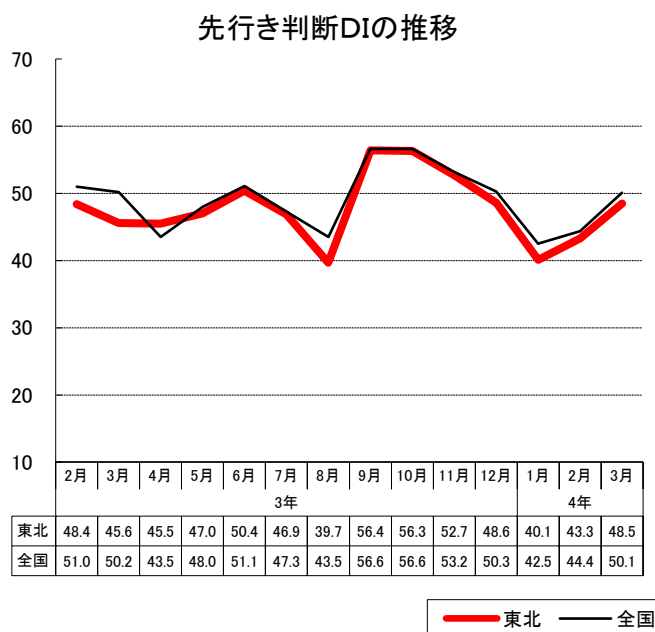
(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「42.4」と3か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+5.0ポイント上昇した。



(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

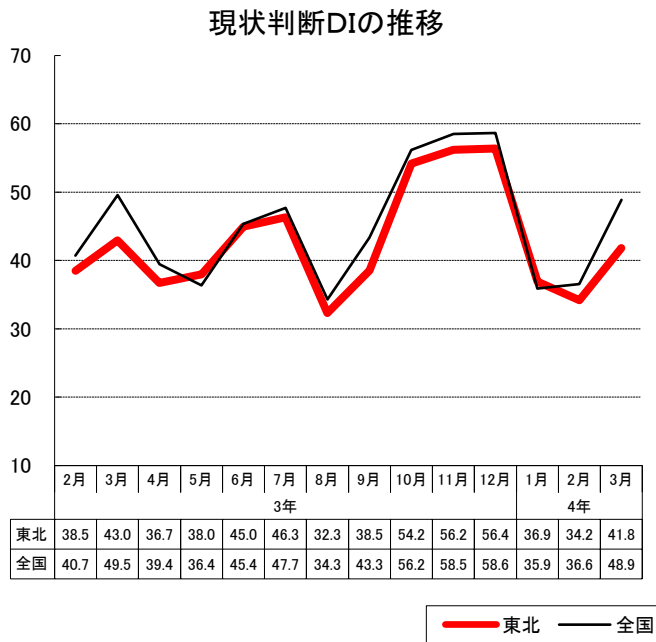
先行き判断DIは「48.5」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+5.2ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断DIは「41.8」と3か月ぶりに前月を上回った。前月と比較し+7.6ポイント上昇した。



○家計動向関連…乗用車・自動車備品販売店、スーパーの業種でDIが前月を下回ったが、コンビニ、一般レストラン、百貨店等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「42.5」(+11.5)と、3か月ぶりに前月を上回った。

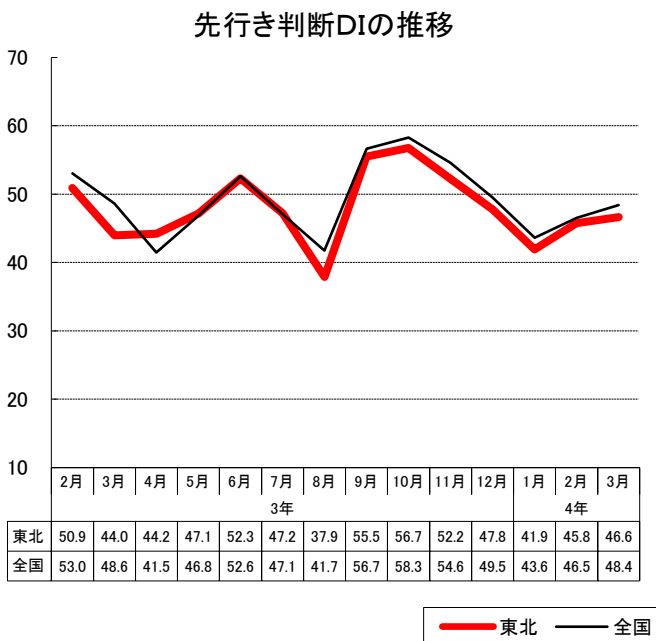
○企業動向関連…金融業、農林水産業、食料品製造業等の業種でDIが前月を下回ったが、広告代理店・広告業協会、建設業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「40.0」(+1.4)と、3か月ぶりに前月を上回った。

○雇用関連…DIは「40.8」(▲5.3)と、4か月連続で前月を下回った。

(2) 先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

先行き判断DIは「46.6」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+0.8ポイント上昇した。



○家計動向関連…一般小売店、通信会社、スーパー等の業種でDIが前月を下回ったが、一般レストラン、観光名所・遊園地・テーマパーク、観光型ホテル・旅館等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「46.4」(+1.3)と、2か月連続で前月を上回った。

○企業動向関連…出版・印刷・同関連産業、司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、食料品製造業等の業種でDIが前月を上回ったが、建設業、電気機械器具製造業、土石製品製造販売等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「45.0」(▲2.9)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「51.3」(+5.2)と、2か月連続で前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（1）現状判断（方向性）D I

	3年												4年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北現状	38.5	43.0	36.7	38.0	45.0	46.3	32.3	38.5	54.2	56.2	56.4	36.9	34.2	41.8	
家計動向関連	35.4	40.5	32.6	35.1	42.9	43.6	29.6	36.8	51.8	54.3	55.4	33.6	31.0	42.5	
企業動向関連	45.6	50.8	46.3	41.2	49.3	50.8	37.5	43.4	56.6	55.1	56.6	40.0	38.6	40.0	
雇用関連(参考)	45.0	45.0	45.0	50.0	50.0	55.0	40.0	40.0	64.5	69.7	62.5	51.3	46.1	40.8	

（2）先行き判断D I

	3年												4年		
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
東北先行き	50.9	44.0	44.2	47.1	52.3	47.2	37.9	55.5	56.7	52.2	47.8	41.9	45.8	46.6	
家計動向関連	50.8	45.0	43.3	45.7	50.2	43.2	36.6	53.9	53.7	50.4	45.7	40.9	45.1	46.4	
企業動向関連	54.4	40.9	46.3	47.8	54.4	55.3	43.8	56.6	58.1	54.4	51.5	45.0	47.9	45.0	
雇用関連(参考)	45.0	42.5	46.3	55.0	61.3	57.5	36.3	62.5	72.4	59.2	54.2	42.1	46.1	51.3	

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和4年3月25日～31日

回答者数 171/189 名、回答率 90.5%（全国 1,829/2,050 名、89.2%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：三浦 融）

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

<別 紙>

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（建設業）…大型の民間設備投資案件の受注があった。

○「やや良くなっている」

（百貨店）…月中の地震の影響は2～3日みられたが、年度末の人の移動が増え、手土産を含むギフト需要なども前年よりは活発に動いている。新型コロナウイルス新規感染者数は高止まっているが、販売量は以前ほどの減少傾向にはなっていない。

（コンビニ）…季節的にも気温が上がっているのと同時に、新型コロナウイルスに慣れてきている感じがある。

（衣料品専門店）…まん延防止等重点措置が解除されてからは、入学、卒業などのモチベーション需要に加え、ふだん着需要も少しずつ以前の状態に戻りつつある。

（その他専門店[白衣・ユニフォーム]）…飲食店や観光業の状況はまだまだ厳しいが、少しずつ動きも出てきているようである。年度末、春の観光シーズンということもあり、その準備、事前発注という形で注文が入ってきている。前年は動きが全くなかったが、今年は動きがあるので有り難い。また、制服リニューアルの話も結構出てきている。今まで我慢していた企業もそろそろ買換えのタイミングなのかもしれない。

（観光型旅館）…まん延防止等重点措置が解除になり、全国的な新規感染者数の減少が明らかになるにつれ、宿泊者の動きが出てきている。

（旅行代理店）…まん延防止等重点措置の解除により、個人旅行の先行予約が緩やかに増加している。団体旅行においては相談案件数が個人旅行同様に緩やかに増加傾向にあり、申込み案件も数件発生していることから、3か月前と比較すればやや上向いている。

（遊園地）…新型コロナウイルスの感染が収まってはいないが、マインド的に良くなっている。比較的天候も良く、新型コロナウイルス発生前には届かないものの、前年、前々年より上向いている。

（設計事務所）…ロシアのウクライナ侵攻や半導体不足により、建設材の高騰が懸念され建設ニーズが減少していた。しかし、3月16日の福島県沖地震の影響で、地域により被害の状況は大きく異なるが、県内の自治体より災害復旧の見積りや現地確認の依頼が出ており、今後着手する予定がある。

（公認会計士）…客の月次、あるいは決算状況から判断している。建設関係はある程度の利益を確保しているが、飲食関係は支援金で持ちこたえている状況である。小売、サービス関係は少し客が戻りつつあるようで、3か月前よりはおおむね改善している。

○「変わらない」

（商店街）…本来なら上向きが期待される年度末を前にして、地震による物流の停止や輸入の不安定などにより、販売が伸び悩んでいる。

（観光型ホテル）…新型コロナウイルスの新規感染者数は依然減っていない。自粛ムードが薄れ少しずつ動いてきていたが、地震の影響でまた止まった。東北新幹線が動いていないので首都圏から集客が厳しい。

（美容室）…来客数は前年比90%前後の状況が続いている。一時期よりは良くなっているが、今月発生した震度6の地震によって、ドル箱の卒業式関係で規模の縮小や延期、被災による会場の変更などがあり、売上がダメージを受けている。

（輸送業）…ロシアのウクライナ侵攻により、欧州向けの輸出が減少している。

（広告業協会）…新規感染者数は減っていないが、3回目のワクチン接種が進んだことに加え、陽気もよくなり、若干ではあるが消費意欲も活発になる兆しがみえてきた。しかし、年度末の広告出稿増を期待したが、新型コロナウイルス発生前には遠く及ばない状況である。

(人材派遣会社) …首都圏に比べてオーダー数が前年を割っている状況である。企業はいまだ新型コロナウイルスの影響を強く受けており、採用に投下できる予算がないと思われる状況である。

○「やや悪くなっている」

(一般小売店[酒]) …まん延防止等重点措置の解除後もなかなか人が動かない状況が続く。それに加えて、旅館ホテル関係の客先では地震による影響でまたキャンセルが多数発生し、販売量が更に減少している。

(スーパー) …来客数は98.6%と前年を割り込み、買上点数は前年から少し落ち込んでいる。コロナ禍の影響と、値上げ等による節約意識の高まりがあるとみている。

(家電量販店) …ウクライナ情勢やガソリン価格高騰など、いろいろな要素が客の購買意識に働いている。やや財布のひもが固くなってきている。

(乗用車販売店) …回復基調だった車両生産だが、再度の工場ストップで見通しが狂ってきた。納車待ち客の対応を余儀なくされ、現場も混乱している。

(一般レストラン) …当県はまん延防止等重点措置の適用はなかったとはいえ、他県から客は来ることができず、県内客も自粛していたため、ひどい状態であった。それに加えて大きな地震もあり、人出が鈍っている。月の終わりに少しずつ予約が入ってきそうな状態になっているので、そこだけが唯一の光である。

(タクシー運転手) …3月16日に東日本で震度6強の大きな地震があった。生活は良くなっていないが、タクシー業界的には地震に関する調査などの仕事がほどほどに増えている。

(農林水産業) …前年の収入は例年と変わらなかったが、春の生産資材が1~2割程度値上がりしている。

(食料品製造業) …地震の影響で東北新幹線が止まっているため、駅店舗の売上が減少している。さらに、前年はテレビ番組に取り上げられたので通販が大きく伸びたが、今年はその分がなく通販が大きく減少している。

(職業安定所) …求人数が増えているが、求職者数の減少により企業は思うような採用活動ができていない。資材の高騰に加え、部品が入荷されないなどで仕事を休まざるを得ない状況となっている企業もある。娯楽業においても閉店を余儀なくされるケースが続いている。

○「悪くなっている」

(金融業) …住宅関連では、新型コロナウイルスの影響により展示場の閉鎖や商談キャンセル、契約の中止や延期が増加している。建築資材等の値上がりから新築価格上昇、中古住宅やマンションに流れる傾向もみられる。

(新聞社[求人広告]) …新型コロナウイルスのまん延防止等重点措置が解除になり期待していた面もあるが、多くの客先で想定以上の落ち込みがあった。その上、大きな地震があり、新幹線の復旧が長引くなどしている。マイナス要素ばかりが目立つ。

(2) 先行き判断理由

○「良くなる」

(食料品製造業) …まん延防止等重点措置の解除や交通網の復旧に加え、ゴールデンウィークがあることから、今まで抑えられていた分、人流が活発になると予想される。

○「やや良くなる」

(商店街) …新型コロナウイルスに慣れて消費が動くともみている。

(コンビニ) …まん延防止等重点措置の全国一斉解除による人流増加に期待している。コロナ禍次第ではあるが、盛夏に向けて来客数の増加にも期待している。

(衣料品専門店) …ビジネスマンの出張など出掛ける人が増えてきて、例年どおりになりつつある。出張が増えれば、スーツの新調なども出てくるため、リモートオンリーの社会でなくなれば、我々の業界も少しずつ潤ってくるとみている。

(一般レストラン) …全国的にまん延防止等重点措置が解除され、少しずつではあるがウィズコロナで外に出てくるような兆しがみえる。前月、今月とずっと悪かっただけに、来月以降は多少なりとも良くなっていくとみている。

(観光型ホテル) …慣れにより、新規感染者数に関係なく客が動いてくるとみている。

(観光名所) …感染状況により客の動きがピタッと止まることはなくなった。客もウィズコロナ、どのように行動するかを考えながらの動きに変わってきているようである。今後はもう少し客が増えてくれば景気は回復していくとみている。

(出版・印刷・同関連産業) …新型コロナウイルスの感染が収束するのを期待したい。また、新規事業の立ち上げを予定している。

(職業安定所) …洋上発電工事が始まり作業員の食事や宿泊先の需要があるため、飲食店や宿泊施設への新型コロナウイルスの影響は引き続き最小限に抑えられている。また、大型工場の進出が決定している。

○「変わらない」

(経営コンサルタント) …政治経済のグローバルな安定が見通せない限り、景況悪化傾向に変化はないとみている。

(人材派遣会社) …ロシアのウクライナ侵攻や東北の地震、新型コロナウイルスの感染状況の収束鈍化などにより先行き不透明になっている。原油高がこれ以上進行するようであれば景気下振れもあり得る。

○「やや悪くなる」

(スーパー) …電気、ガスの光熱費の上昇が企業収益を圧迫すると予測している。収益圧迫の影響で景況感はやや下向き傾向になるとみている。

(その他専門店[ガソリンスタンド]) …今後の世界情勢の動向によるが、販売価格は上昇したままの状況が続くとみられ、回復は見込めない。

(通信会社) …今年に入り、原油高に加え各種物価が値上がりしている。一部企業ではベースアップが見込まれるが、政府が掲げるような賃上げにはなっておらず全体的な底上げには程遠い。値上げに伴い従来よりも消費が冷え込み、景気は悪くなるとみている。

(土石製品製造業) …ロシアによるウクライナ侵攻の影響や国内での各原材料、生活用品の値上げに賃金が全くついていかず、業績も生活も良くなる兆しがみえない。

(電気機械器具製造業) …ロシアのウクライナ侵攻による様々な経済制裁の影響が、今後徐々に電子部品事業にマイナスに働くと考えられる。

(建設業) …原油価格の高騰が続く間は、原材料の価格が高止まりすると見込んでいる。

(新聞社[求人広告]) …コロナ禍が収まる一方で、ロシアのウクライナ侵攻の影響が深刻化するおそれがある。

○「悪くなる」

(一般小売店[医薬品]) …これから暖かくなり人が多く集まる機会がたくさんあるので、新型コロナウイルス感染は下火にならず、現状維持かもっと多くなるとみている。また、物価の上昇がますますひどくなり経済も落ち込むので、状況は悪くなる一方である。

(その他非製造業[飲食料品卸売業]) …ウクライナとロシアの戦争が世界全体の不景気の要因になっている。油、原料、資材等、全ての値上がりに結び付いている。戦争が終わったからといって元の状況に戻ることは考えられないため、販売は非常に慎重になって、購買力も落ちると予想している。1～2年は元に戻ることはなく、不景気状態が続くとみている。

東北地域に関する解説は、当センターの責任でまとめたものです。

以上